

平成31年度「地域力向上を実現する中小企業応援プログラム」基礎編～応用編 カリキュラム

1.基礎編 講習会内容

日	日程	場所	時間	科目	登壇者	内容
1日目	5月24日 (金)	名古屋センタービル5F	9:00～9:05	開会挨拶	中小機構中部 本部長 三澤 孝	
			9:05～10:00	地域経済活性化に向けた地域金融機関の役割	金融庁監督局銀行第二課 地域生産性向上支援チーム専門 官・協同組織金融室補佐官 奈良 義人	・面の活性化(エコシステム)での新しい流れを踏まえ、営業 店でもできる地域金融機関の役割とは何か。 ・さらなる面の活性化(中小企業応援)に必要な営業店単位 での地域金融機関の動き方は何か。
			10:00～17:00	ものづくり技術の基礎知識 ～原価計算、生産工程、生産統制～	田中経営診断事務所 中小企業診断士 田中 豊	ものづくり企業の事業性評価のために、目利き力発揮に必要 な知識・ノウハウを学びます。材料、加工方法等の生産体系 を基に、目標粗利益を計算する手法を学び、製造原価をコント ロールする生産計画(4Mの有効活用)・統制(QCDの最適 化)等の考え方を把握します。講義の仕上げは目標粗利益 が確保できる生産工程をグループワークで考えます。
			17:00～17:30	オリエンテーション	中小機構中部 人材支援部長 増田 武史	本プログラム等について。 ハンズオン支援事業について。
※1日目終了後、懇親会予定						
2日目	6月21日 (金)	名古屋センタービル5F	9:00～17:30	ものづくり技術の基礎知識	田中経営診断事務所 中小企業診断士 田中 豊	ものづくり企業の事業性評価のために、コンサルティング力発揮 の基幹となる、ものづくり企業の生産課題を事例演習で考え ます。ものづくり企業をPDCAの考え方で俯瞰し、A(改善:コ ンサルティング力発揮)を遂行するための課題を、グループワーク で1日目で学んだ目利き力を発揮して把握します。
				建設業・運送業の事業性評価のための 基礎知識		ものづくり企業の事業性評価の考え方を建設業・運送業に 展開し、グループワークで工事課題・運送課題を考えます。
3日目	7月23日 (火)	名古屋センタービル5F	9:00～10:00	Society5.0で実現する新社会	中部経済連合会 審議役・調査部長 川瀬 康博	政府が提唱するSociety5.0とはIoT、ICT、AI、データサイエ ンスなどが高度に普及し進化した次世代の社会ですが、それ はどのような姿をしているか、その中で企業や産業構造はど う変化するか、金融機関はどう変わるべきかなどについて皆 さんと考えます。
			10:00～11:30	生産性向上のための中小・小規模事業者 へのIT導入支援	中小機構中部 中小企業支援チーフアドバイザー 道家 睦明	IT/IoT導入による生産性向上を支援する際に、必要な視点 や具体的なツールなどについて理解し、支援の現場ですぐに 活用できることを目指します。 (1)そもそもIT、IoTって何か? (2)業界別にどんなITツール があるか? 導入事例は? (3)導入に向けて検討すること は? (4)導入に向けたサポートメニューは?
			12:30～14:00	顧客視点から支援するためのマーケティングの 基礎		製品の開発から生産、流通、販売に至る活動全般を、マー ケティングの基本的な視点である顧客との絆づくり(BtoC・ BtoB※営業活動のプロセス管理)という視点から、整 理し、支援先の事業を顧客視点から支援できることを目指し ます。
			14:00～17:30	支援先の生産性向上を目指した事業性評価		これまでのカリキュラムで学んだ内容を活用し、具体的な事 業者の事例についてどのように考え、どのような支援が可能 かについて、ディスカッションを通じて検討し、リアルな事 業者の支援能力として定着することを目指します。
4日目	8月27日 (火)	名古屋センタービル5F	9:00～10:30	中小企業政策の基本的考え方		中部経済産業局 産業部 中小企業課長 鶴巻 正美
			10:30～16:00	事業承継ガイドラインの解説と 知的資産経営の考え方	中小企業中部 事業承継コーディネーター 水野 輝彦	事業承継ガイドラインと個人版事業承継税制の解説。 財務上の資産だけでなく、ノウハウ・技術やネットワークなど 目に見えない資産を「見える化」することで、企業の強みを整 理する考え方を紹介します。
			16:00～17:30	講習会まとめ 中小企業大学校瀬戸校	ハンズオン事例発表者 中小機構中部 企業支援課 課長代理 熊崎 淳司 中小企業大学校 瀬戸校 課長代理 馬島 康生	ハンズオン事業の紹介。 地域金融機関から推薦いただいた企業のハンズオン事例を 紹介。 応用編オリエンテーション。

2.応用編 中小企業大学校瀬戸校研修内容

日	日程	場所	時間	科目	登壇者	内容
1日目	10月3日 (木)	中小企業大学校 瀬戸校	9:40～10:00	オリエンテーション	当機構職員	
			10:00～12:00	目利き力向上のための基本的事項の確認 ～ものづくり企業を例として～	田中経営診断事務所 中小企業診断士 田中 豊	事業性評価による融資が求められる中、その礎(いしずえ) として、目利き力の向上が求められます。ここでは、基礎編 の復習を兼ねて、ものづくり企業を例として、目利き力向上 のための基本的な事項である現場での生産活動についての 確認を行います。
			13:00～17:00	改善演習による生産性向上 ～ものづくり企業を例として①		基礎編で学んだものづくり企業の原価管理を土台にした事 業性評価の基礎知識を基に、作業改善演習を通して、生産 課題の目利きを行い、改善の提案が出来るまで事業性評価 能力を高めていただきます。受注→生産計画→製造→製品 出荷の業務の流れのなかで、人・モノ・カネの関わりを理解 し、目標粗利益を獲得するための最適な生産方法をグルー プワークで考察します。
※1日目終了後、懇親会予定						
2日目	10月4日 (金)	中小企業大学校 瀬戸校	9:00～16:00	改善演習による生産性向上 ～ものづくり企業を例として②	同上	同上

※カリキュラムは、都合により一部変更することがありますのでご了承ください。